

概要版

WFRS 20th
World Rose Convention 2024 in Fukuyama

第20回 世界バラ会議 福山大会2024 基本計画

2020年(令和2年)3月

世界バラ会議福山大会準備委員会

World Rose Convention Fukuyama Preparatory Committee

 **Roses for the Future** 
～福山からはじまる、新しい未来～

第20回世界バラ会議福山大会は、
2025年(令和7年)5月に1年延期と
なりました。

開催に向けて、2020年(令和2年)6月に
世界バラ会議福山大会実行委員会を
設立し準備を進めています。

世界へ届けよう 未来へ残そう 福山の心 “ローズマインド”



■ ばらのまち福山

「戦災で荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に思いやりと優しさを取り戻そう。」

1950年代半ば、その声はどこからともなく上がった。

まるで、希望の明かりを灯すかのように。

ばらのまち福山には、ばら公園を始め、まちの至る所に赤や黄、白といった色鮮やかなばらが誇らしげに咲いている。市民にとって、ばらは暮らしに彩りを添える日常の景色であり、平和の尊さを伝え、心の豊かさが実感できる、活力ある福山の象徴として親しまれている。

■ 復興への祈りを込めて

1945年(昭和20年)8月、福山空襲により福山のまちは、市街地の約8割が焼失した。筆舌に尽くしがたい苦難の中、市民は懸命に復興への歩みを続けた。しかし、戦後の再建復興が進められる中でも、市民の心は混迷を抜け出せないままだった。

そんなとき、現在のばら公園付近の住民の手によって、雑草だらけの空き地に約1,000本のばらが植えられた。植えられた一本一本のばらには、傷ついた心を慰め、生きる勇気と希望を取り戻したい、お互いに助け合ってこのまちをもう一度よみがえらせたいとの祈りが込められていた。

■ 「100万本のばらのまち」の実現

ばらの普及活動は、多くの人々の共感を生むこととなった。市民と行政は互いに協力し、学校や公園、街路などへばらの苗を植え、ばらを通じたばらのまちづくりの輪を広げた。ばら一本一本に平和な社会の実現とまちの将来の発展への願いを込めて。

60年以上にわたる歩みの中、まちにはばらが溢れ、人と人とがつながることで、ばらを通じてコミュニティが次々と生まれた。小さな活動が積み重なり、多くの市民主体による取組、協働による取組により「100万本のばらのまち」となった。

100万本のばらのまちに育てた希望の心が、このまちには咲いている。

一人一人の小さな思いやりや優しい心が、このまちには香っている。

ばらを愛し、人を愛する心が、このまちには育っている。

そうした福山の心はローズマインドと呼ばれ、次の世代へと受け継がれてきたのである。

■ 記憶に残る大会へ

2024年(令和6年)の世界バラ会議は、プレッサー、ポストツアー等での全国のばら園の訪問、日本の文化や歴史などが体験できるプログラムの実施など、日本全国が舞台となる大会です。国の関係省庁を始め、関係自治体とも連携を図り、日本のプレゼンスの向上をめざします。

また、世界中の皆様を福山の心「ローズマインド」でお迎えし、市民とのふれあいを通して、平和の尊さを分かち合い、大会の意義を共有することで、大会に関わった全ての人に、それぞれの物語「ローズマインドストーリー」が生まれ、記憶に残る大会としていきます。



ばらを植える住民

住民と福山市が協働でばらを植栽

1968年(昭和43年)、第一回バラ祭の様子



ばらづくりの担い手の育成



子どもの頃からばらにふれる環境づくり



2016年(平成28年)5月21日100万本のばらのまち達成

2024年 第20回世界バラ会議福山大会 開催!



世界へ届けよう、未来へ残そう! 福山の心“ローズマインド”



大会に関わったすべての人に“ローズマインドストーリー”が生まれ、記憶に残る大会としていきます。



ビジョン

戦後60年以上に及ぶばらのまちづくりの中で、暮らしの中に息づいてきた福山のばら。ばらの世界観を広げ、ばらの力と市民の力を組み合わせ、新たなばらの価値(ばらの未来)を創造し、持続可能な社会が実現した輝き続けるまち福山を創造していきます。

アクション

福山のばら、ローズマインドによるまちづくりを発信するとともに、ばらの可能性を広げ持続可能な社会の実現をめざすため、世界バラ会議福山大会と(仮称)Rose Expoを開催し、大会を通じて取り組み生み出された様々な成果を有形無形のレガシーとして残していきます。

ばらの力

輝かしい福山のまちと持続可能な社会の実現へ

1. 平和な社会の実現(平和の象徴)
2. 国際交流(ばらが世界をつなぐ)
3. 都市の魅力向上(美しいまち)
4. 経済活性化(観光・産業の発展)
5. 環境美化(快適な地域)
6. 健康で豊かな暮らし(花や緑との共生)
7. コミュニティの維持(まちづくり活動)
8. 人材教育(シビックプライドの醸成)

ばらの世界観

ばらが持っている機能的、情趣的価値

- ・美・彩り・可憐・上品・癒し・憩い
- ・愛情・豊かさ など

ばらの世界観を活かせる分野

- ・ファッション・美容・食・環境
- ・美術・健康・音楽・工芸 など

市民の力

- ・戦後復興を成し遂げた経験(復興力)
- ・100万本のばらのまち福山を実現した経験
- ・ローズマインド

新たなばらの価値の創造と持続可能なまちの実現へ



持続可能な社会を実現するためのSDGs17の目標と対応した取組



輝き続ける福山へ

世界バラ会議福山大会

福山のばら、ローズマインドを発信する場
ばらの可能性を広げ、新たなばらの価値を創造する場

〈実施内容〉

- ばら研究など発表・エキスカージョン・プレッシャー・ポストツアー



(仮称) Rose Expo

福山のばら、ローズマインドによるまちづくりが経験できるイベント

〈実施内容〉



平和



国際交流



先端技術



コミュニティ



世代間交流



暮らし



アート



音楽



健康



美容・癒し



1 開催概要

名称

第20回世界バラ会議福山大会 2024

WFRS 20th World Rose Convention 2024 in Fukuyama

テーマ

Roses for the Future

～福山からはじまる, 新しい未来～

開催期間

1 本会議

2024年(令和6年)5月19日(日)～25日(土)

2 オプションツアー

プレツアー 本会議前 3日～6日間

ポストツアー 本会議後 5日～7日間

大会プログラム内容

1 本会議

1 世界バラ会連合 各種委員会・会議など

表彰委員会、開催地選考委員会などの委員会や理事会を開催します。また、世界40か国の代表者による評議委員会を行い、次期開催地などを決定します。

2 講義

ばらの植物学、栽培などをテーマに各国の研究者や専門家を講師として招き、ばらの最新情報、研究成果の発表などの講義を行います。

3 開会式・ウェルカムパーティー

本会議の幕開けを告げるイベントとして、参加を歓迎するレセプションを行い、本会議への期待感を高めます。

4 閉会式・フェアウェルパーティー

共に過ごした世界各国の人々が一堂に会し、式典を含めた懇親ディナーを開催します。次期開催地へ大会旗の引継ぎなどを行います。

5 各種表彰

大会記念ばらや殿堂入りのばらの発表、優秀庭園賞の表彰などを行います。

6 エクスカーション

本会議開催期間中に、半日又は終日で広島県内を中心としたガーデンなどの視察や取組の紹介、名所などを巡るツアーを開催します。

7 ローズショー・展示会

ばらの盆栽(盆景)や各種コンテストを始め日本・福山の歴史や文化などの特色を活かした催しや展示会を開催します。

8 同伴者プログラム

大会登録者に同伴して来られる方にも、楽しんでもらえるよう、観光名所への訪問や日本ならではの文化体験プログラムなどを行います。



開会式



講義



フェアウェルパーティー



エクスカーション風景

2 オプションツアー

1 プレツアー

大会登録者を対象に本会議前の日程で、西日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

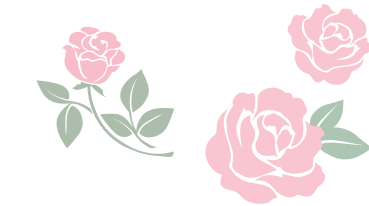
2 ポストツアー

大会登録者を対象に本会議後の日程で、東日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

2 会場計画

大会関係者や大会登録者が各プログラムに参加しやすいよう、立地条件や施設規模、整備状況などを踏まえたうえで、会場を設定します。

また、福山らしい歴史的建造物や文化施設などで、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出します。



3 宿泊・交通計画

宿泊施設は、大会登録者などの移動に負担がかからないよう、福山駅から徒歩圏内に集約するよう努めるとともに、ゲストハウスの活用など参加者の希望によって柔軟に対応できるようにします。

また、宿泊施設から各会場までが徒歩圏外となる場合はシャトルバスを、エクスカーションにおける移動は大型バスによる運行を基本とし、大会登録者などが安全・円滑に移動できるようにします。

4 参加登録計画

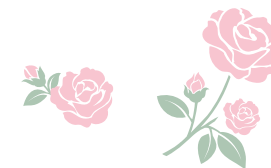
国内及び海外の参加希望者がスムーズに参加登録できるよう、分かりやすいウェブサイトを構築し、随時情報を更新することで登録の促進につなげます。また、登録区分に合わせて段階的に登録を促し、多くの大会登録者の確保をめざします。

5 ローズマインド推進計画

ローズマインドを大会を通じて更に市民への浸透を図り、心を込めたおもてなしにより、各国から参加する皆様をお迎えし満足していただける大会をめざします。また、まち全体に咲き誇るばらとともに、世界の人たちと平和の尊さを分かち合い、ローズマインドを大会参加者の皆様と共有し、この福山の心を大会後も福山の文化として更に根付かせ、発信していきます。



©福山観光コンベンション協会



6 大会ムーブメント計画

大会に向け、市民の一体感が図れるよう周知に努め、誰もが大会に関わることができるよう活躍の場の拡大を図り、まち全体の取組としていくとともに、日々変わっていく様子や市民みんなが協働により取り組む姿を発信することで、高揚感や期待感を高め、大会に向けたムーブメントを起こしていきます。また、大会そのものがばらのまち福山を発展させるムーブメントとなるよう取り組んでいきます。



7 ボランティア計画

ボランティア一人一人が楽しみながらやりがいを持って活動できる機会を創出するとともに、大会の成功を支える人材として、個人のスキルアップを図りながら、大会の意義やローズマインドの理解を深め、大会参加者に接するなどホスピタリティあふれる大会にしていきます。また、大会での経験や感動を活かし次の活動へとつながるようボランティア活動の継承に取り組んでいきます。

8 協働推進計画

市民、団体、企業、学校など多様な主体が得意な分野で大会に関わり活躍できる場を創出し、「みんなで創る大会」の開催をめざします。

持続的な活動につなげるため、主体的に参画できる人材の発掘と育成、協働の実践により、協働のまちづくりの推進の強化に取り組んでいきます。

9 安全対策計画

大会参加者・関係者等の生命及び身体の安全を守ることを最優先に、消防、警察署その他関係機関との連携を密にし、危機管理体制・医療救護体制を整え、安全対策を行います。

10 広報計画

世界中から多くの人を訪れる大会となるよう、「認知拡大期」, 2021年(令和3年)のアデレード大会開催後からの「機運醸成期」, 「誘客促進期」のフェーズに分け、大会のPRと参加の促進、機運の醸成につながる情報を民間のノウハウも活かしながら積極的に発信します。また、大会の認知度を高め大会への誘客を行うことで、ばらのまち福山の知名度の向上に寄与する広報活動を展開します。

時期	内容	時期	内容
アデレード大会開催前		アデレード大会開催後	
認知拡大期 (~2021年10月頃)	大会の認知度向上や開催意義・内容などの普及、理解を深めるためのPR活動を行います。	機運醸成期 (2021年11月頃~2023年8月頃)	他都市との連携や全国イベントの活用を図るなど、市内外の機運醸成と来場動機を高めるためのPR活動を行います。
		誘客促進期 (2023年9月頃~2024年5月頃)	大会プログラムの紹介や見どころのPR活動、プレイベントの開催などによる誘客促進のためのPR活動を行います。

11 スポンサー・パートナー計画

大会を盛り上げ、企業や団体のアピールにつながるなど、相互にメリットが感じられる多彩な協賛メニューを提案し、多くの企業や団体などが参画できるようにします。また、企業や団体の特色やノウハウを活かした企画や複数の企業などの協働による取組が行える場を創出し、参画の拡大につなげます。

12 (仮称) Rose Expo 開催計画

ばらを始めとする花々や緑の魅力、ばらのまち福山の魅力を発信するためのイベントとして(仮称) Rose Expoを市民、企業、行政が一体となって開催します。ばらの魅力を学び体感できるプログラムやデジタルコンテンツの活用など、訪れる全ての人が、楽しみ、心が躍るような内容をめざします。



13 レガシー

第20回の記念すべき大会として、世界バラ会連合や国内外に確かな成果を残すと同時に平和のメッセージを世界に発信し、ばら文化や日本の魅力を海外へ広く伝えることにより、日本のプレゼンスの向上につなげます。また、大会を通じて、都市ブランドの向上、産業・観光の発展、国際化の推進、シビックプライドの醸成など福山にとって大きな飛躍の契機となるよう取り組みます。

14 ロードマップ

項目/年度		2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025~ (R7~)	
世界バラ会議	世界大会		アデレード大会 (オーストラリア)			福山大会 (日本)		
	地域大会	ブリュッセル大会(ベルギー)						
福山市イベント		全国都市緑化ひろしまフェア		福山城築城400年記念事業	世界バラ会議プレイベント	ばら制定都市会議 (ばらサミット)		
推進体制		実行委員会						
大会計画・準備		世界バラ会連合・日本ばら会との連携 実施計画策定 → 実施運営マニュアル策定						
講義		講師選定 → 講師調整・確保 → 講義準備						
エクスカーション		プレ・ポストツアーエクスカーション地選定 → 選定地調整・ルート選定 → プレ・ポストツアーエクスカーション実施準備						
会場計画		会場選定一部確保 → 会場確保、使用計画作成 → 会場準備						
宿泊・交通計画		施設選定一部確保 → 宿泊施設調整・確保 → 宿泊対応準備 輸送ルート計画立案 → 関係機関との調整・準備 → 輸送ルート決定						
参加登録計画		参加登録金額の検討・決定 → 参加登録内容の決定システム構築 → 大会登録者受付開始						
ローズマインド推進計画		計画立案 → 計画実施						
大会ムーブメント計画		計画立案 → 計画実施						
ボランティア計画		ボランティア募集計画作成 → ボランティア募集 → ボランティア養成						
協働推進計画		計画立案 → 計画実施						
安全対策計画		関係機関との調整、危機管理体制構築 → 実施準備調整、連携						
広報計画		認知拡大 → 機運醸成 → 誘客促進						
スポンサー・パートナー計画		計画立案 (スポンサーメニュー作成) → 依頼・提案 → 連携・協力						
(仮称) Rose Expo 計画		計画立案 → 開催準備						
環境整備 インバウンドインフラ		環境整備計画・設計・工事・既存施設の改修						
国・県・他自治体との連携		国 (総務省・国土交通省・農林水産省・外務省ほか) 広島県・近隣自治体・エクスカーション・ツアー地自治体・ばら制定都市会議との連携 (随時)						

世界バラ会議福山大会・(仮称) Rose Expo
大会総括
大会レガシー継承

日本政府観光局 (JNTO) 国際会議誘致・開催貢献賞 (誘致の部) 受賞!

第20回世界バラ会議福山大会2024の誘致に向けた取組が評価され、
「2019年度日本政府観光局 (JNTO) 国際会議誘致・開催貢献賞」 (誘致の部) を受賞しました。





「国際会議誘致・開催貢献賞」は、2008年度 (平成20年度) に創設され、国際会議の意義の普及・啓発や日本での国際会議を推進するため、国際会議の誘致及び開催における優れた功績を表彰するもので、コンベンション有識者で構成される審査委員会での審査を経て決定されます。